

〈2年〉

じどうのみなさんへ



【かてい^{がく}しゅうについて】

〇かてい^{がく}しゅうの時間^{じかん}…毎日^{まいにち}20～30分以上^{ふんいじょう}しよう！

(毎日^{まいにち}の宿^{しゅく}題^{だい})

〇音^{おんどく}読、けいさんカード・・・大きなこえて、はっきり^{ただ}正しくよみましょう。
よんだら、カードに、サインをしてもらいましょう。

〇計算ドリルまたはプリント・・・(さんすう)



① 学校で学^{がく}しゅうしているもんだいが出ています。

よく^{おも}思^だい出して、こたえましょう。

② 文^{ぶん}しょうだいはい、もんだいをよくよんで、こたえましょう。

(くご)

① 文字^{もじ}を、ていねい^かに書^かきましょう。

② もんだいをよくよんで、こたえを^かきましょう。

〇かん字^じドリル・・・ていねい^かにれんしゅうしましょう。

〇そのた・・・日^に記^{っき}、けんぱんハーモニカ、さくぶん、どくしょなどをしましょう。

【こんなことに気をつけましょう】

★家^{いえ}の人^{ひと}とそうだんして、学^{がく}しゅうするばしょ・学^{がく}しゅうする時間^{じかん}をきちんときめま
しょう。

★しせい^{ただ}や正^{ただ}しいえんぴつ^きのもちかたに気をつけましょう。

★おわったら、おうちの人^{ひと}に見^みてもらいましょう。

★おうちの人^{ひと}に見^みてもらったら、すぐ^いにれんらくぶくろに入れて、すぐ^{じかん}に時間^あわりを合^あわ
せましょう。

【こんなときには？】

★わからないときは、まず、じ分^{ぶん}でしらべてみましょう。それでもわからない時^{とき}は、
おうちの人^{ひと}にきくか、つぎの日^ひ先生^{せんせい}にきくようにしましょう。





【特にくり返し学習が大切な内容】

○算数・・・くり上がりのあるたし算やくり下がりのあるひき算をスムーズにするためには、1年生で学習した1位数の暗算が大切です。また、2年生では九九を学習しますが、九九の暗記だけでなく、立式の意味をしっかりとらえさせたいと考えています。

それぞれの計算がしっかり定着するよう、ご家庭でのご支援をお願いします。

○国語・・・2年生の新出漢字は、1年生の2倍あります。習った漢字をしっかりと覚え、使えるようにするために、くり返しの練習が大切です。

【こんな宿題が出ています】

～時間は20～30分を目安にしていますが、個人差がありますので、お子様にあった
あたたかい^{はげ}励ましをお願いします～

○音読・計算カード・・・はっきり丁寧に読む練習をして内容理解を深められます。

正しい読みやよい姿勢で読むように声をかけてください。

カードへのサインに、ご協力下さい。

○プリント・・・算数の計算問題、国語の言葉について学習します。授業で学んだことがもとになっています。

○漢字ドリル・・・漢字練習ノートに練習します。

○そのた・・・日記・計算カード・鍵盤ハーモニカ・読書など

【宿題の○つけや間違い直しなどについて】

低学年では、可能な限り宿題の丸付けを 保護者の方にしていただければと考えています。理由として、

☆その場でまちがいを直すことが、子どもの確かな学力につながる。

☆保護者の方が、子どもの学ぶ姿勢やつまずきに、いち早く気づくことができる

☆子どもと保護者の方の間に、より親密な時間が生まれる。そのことが子どもの自信につながり、学習への意欲につながる。

ということが期待されるからです。

「宿題を見る」ことで 気づかれた様々なことを、担任に伝えていただくと、より いっそう家庭と学校での支援がスムーズにいきます。

【お願い】

①家庭学習は、自分から進んで学習する力をつけるための第一歩です。低学年から習慣づけることができるよう、ご協力をお願いします。

②親子で、『宿題の約束』をつくり守っていくようにして下さい。ご家庭に合わせた【勉強時間】【勉強場所】で学習するように声をかけて下さい。

③『ながら勉強』をしない習慣をつけるようにして下さい。テレビは消すこと、お菓子を食べながらしないことなど、学習に集中する習慣をつけて下さい。

④子どものがんばりを見つけて、ほめてあげて下さい。子どもによって、がんばりも様々です。昨日できなかったことが今日はできた、自分から進んで取り組むことができた、最後まで丁寧にやりとげることができたなど、一人ひとりに応じてできたことを見つけてほめて下さい。保護者の方の励ましが、何よりも子どもたちの次への意欲につながります。